

21.8.8 調教Gメンの重賞調教評価

【エルムステークス】

坂路が有効になる向正面の流れ

函館ダート 1700m にベストな調教内容は最終追い切りが函館 W でラスト 1F 最速ラップを踏むか、函 W で併せ馬を同入か先着すること。

これに次ぐ、バターな調教内容は追い切り本数が標準以上の併用系統の調教タイプに該当するか、1 週前追い切り以降に坂路で 4F 目最速ラップを踏むこと。

なかでも、現在の函ダ 17 に重要なのは「坂路」という印象があり、その理由としては、上りになっている向正面でラップが速くなった時、楽に対応できるのが、坂路 4F 目最速だということでしょう。

◎ウエスタールンドは標準坂路主体の調教タイプで 1 週前追い切りが栗東坂路で 4F 目 12.1 秒の最速ラップ。

しかも、2F24.9 秒は近年マークしていなかった、2F25 秒切り。終いの脚が G1 で 2 着した時を彷彿させるものになってきたと思っていましたが、最終追い切り函館ダートでの動きはまさにそれ。

この動きを見て、あらためて、2020 年アンタレス S のレース映像を見直しましたが、3 コーナーからゴールまでの走りがまさに今回の調教 VTR と同じ。

逆手前で長く脚を使えるからこそ、あの捲り脚になるわけで、今回はそれが可能な状況。あとは向正面で速いラップが刻まれることを願うのみ。

○ヴェンジェンスは標準併用の調教タイプで 1 週前追い切りが栗東坂路で 4F 目 12.4 秒で最速ラップ。

最終追い切りは函館 W でラスト 1F 最速ラップを踏めており、調教適性としてはかなりレベルの高い状態に仕上がっています。あとは超がつく長期休養明けで実戦勘が鈍っていないかどうか。

▲トップウイナーは標準併用の調教タイプで

1 週前追い切りが栗東坂路で 4F 目 12.0 秒の最速ラップ。

最終追い切りは函館 W でラスト 1F 最速ラップが踏めていますし、前に行く中では最もレベルの高い調教適性。

前走がフロック視されるようなら、むしろこの馬から狙ってみるのも馬券的には面白いかも知れません。

そういった意味合いから、この馬の単勝は買い目に入れました。

△オメガレインボーは最終追い切りが函館 W でラスト 1F 最速ラップ。

前走と変わらず、順調に仕上がっています。

☆ソリストサンダーは最終追い切りが函館 W でラスト 1F 最速ラップ。

併せ馬では遅れてしまいましたが、調教量としては十分こなせています。

【レパードステークス】

激走するなら追い切り本数多い調教タイプ

夏開催新潟ダート 1800m にベストな調教内容は 1 週前追い切り、最終追い切りがともにトラック馬場で併せ馬を課していること(中 2 週以下は最終のみ可)。

これに次ぐ、ベターな調教内容は最終追いが坂路馬場で 4F 目最速ラップを踏むこと。

8 月 1 日の柳都 S(3 勝クラス)は 1 着、2 着が最終追い坂路で 4F 目最速、3 着が 1 週前、最終が南 W で併せ馬を課していました。

ちなみに 1 着は単勝 54.9 倍の 14 番人気。その調教タイプは標準多め坂路でもありましたが、これは過去のレパード S では 2018 年に標準多め坂路が 1 着、2 着でしたし、2019 年は 11 番人気 3 着が標準多め併用。新潟ダート 1800m の高額条件で激走するなら、追い切り本数の多い調教タイプという傾向は今年も変わっていないようです。

◎ハンディーズピークは中 4 週で 6 本の標準多め併用。

最終追い切りは栗東坂路で 4F 目最速ラップを踏んでいます。
併せ馬では古馬 2 勝クラスに先行したにも関わらず、手応え的に見劣りしましたが、これは前走も同じ。実戦に行くと、しっかりと伸びてくれます。

前走は休養明けで標準少め坂路主体の調教タイプ。
調教量が少なかつただけに、前走は少頭数でダメージの少ないレースになったことがなにより。だからこそ、今回は調教内容が強化されているんだと思います。

○メイショウムラクモは中 3 週で 6 本の標準多め併用。

1 週前追い切り、最終追い切りがともに南 W での併せ馬。
併せた相手が 3 歳未勝利ですから、手応え的には見劣っていますが、まだまだ余裕のありそうな走り。もともと併せ馬で派手な動きを見せるタイプでもなく、調教量をこなしていれば十分でしょう。

▲ホッコーハナミチは中 3 週で 4 本の標準坂路。

追い切り本数が多いわけではありませんが、
最終追い切りは栗東坂路で 4F 目最速ラップ。

体の中心に肢を寄せていく走りをするので、
ラチを頼ったコーナーリングが素晴らしくタイト。
最終追いでも顔が左右に動いても、体がブレないのはこの走りがあるからでしょう。

△オセアダイナスティは中 2 週で最終追い切りが南 W で 3 頭併せ。

先行して、気分よく走ることができており、
ベストは前走のような自分のリズムで走る競馬でしょう。

函館でのレースから中 2 週という過密スケジュールは気になりますが、
それよりもすんなりのレースができるかどうか。